

簡易防錆工法

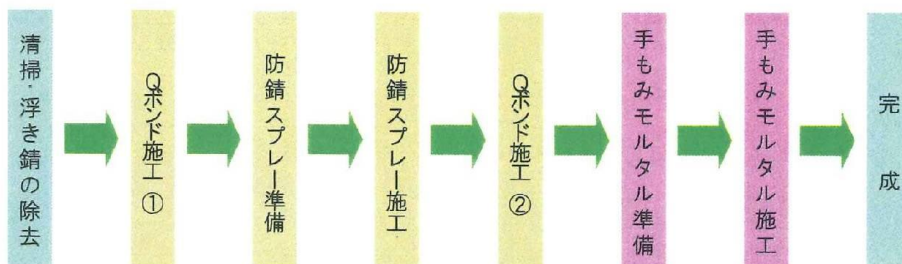
「防錆スプレー」「手もみモルタル」

日常点検時の応急処置に最適な防錆処理

簡易防錆工法は、塩分吸着剤を活用した **SSI工法** (Suppressing Salt Injury Method) の考え方をベースに、露出鉄筋に対して応急的な小断面欠損修復型の補修工法です。コンクリート構造物・建築物・電柱などの露出鉄筋を防錆化し、併せて遮塩性を付与した修復材により手軽な防錆処理を可能にしました。

■ 特 長

- ・ 本工法は「防錆スプレー」と「手もみモルタル」を用いて施工します。
- ・ 防錆スプレーに含まれる塩分吸着剤が鉄筋の腐食を抑制します。
- ・ 手もみモルタルに含まれる塩分吸着剤が劣化因子の侵入を抑制します。



■ 基本物性

	防錆スプレー	手もみモルタル
圧縮強度	—	25~30N/mm ²
付着強度	1.5N/mm ² 程度(鋼板下地)	1.5N/mm ² 程度(建研式)
防錆性・遮塩性	SSI工法用防錆ペーストと同等	SSI工法用遮塩モルタルと同等

■ 価格/セット販売



防錆スプレー

価格：8,400円(税込)
送料別

セット内容
防錆スプレー3缶
付属品Qボンド3缶



手もみモルタル

価格：4,725円(税込)
送料別

セット内容
手もみモルタル5袋

■ 防錆スプレー準備・施工上の注意

★防錆スプレーの使用前後には、付着力確保と防錆材安定化のため、必ず「Qボンド」を施工して下さい。

- (1) 防錆スプレーの準備として、缶を上下によく振とうし、「カラカラ」と音がすることを確認する。
- (2) さらに上下に20回程度振とうして、スプレーを開始する。
- (3) 一時的に作業を中断した場合は、上記の操作を繰り返す。
- (4) 使用を一旦終了した場合は、逆さにして2秒程度空吹きし噴射経路を空にしておく。



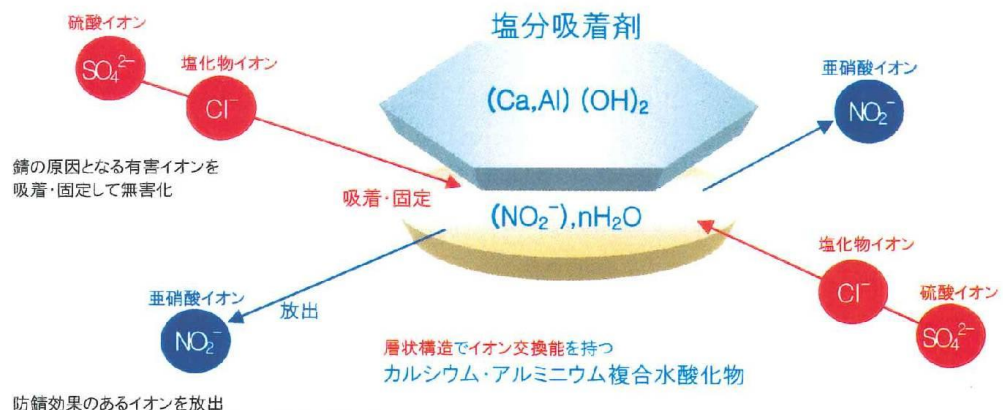
■ 手もみモルタル準備・施工上の注意

- (1) 手もみモルタルの準備として、粉体を液体側へ押し出すように粉体側から力を加えて、中央の仕切りを破壊させる。
- (2) 粉体と液体を手でよく揉み、粘性が確認されたら粉体側端部の切込み（■印の箇所）を適度に切り開いてモルタルを押し出す。

■ 塩分吸着剤の防錆メカニズム

塩分吸着剤は正に帯電させた層状構造で、層間に亜硝酸イオン(NO_2^-)を保持させたものです。
塩化物イオン(Cl^-)、硫酸イオン(SO_4^{2-})を吸着して、亜硝酸(NO_2^-)を放出します。

(社)発明協会平成21年度「発明賞」受賞技術



SSI工法(Suppressing Salt Injury Method)とは

SSI工法は、(公財)鉄道総合技術研究所と旧日本道路公団試験研究所との共同開発によるコンクリート構造物の塩害抑止工法です。本工法は、イオン交換能をもつ塩分吸着剤を用いることで、他の防錆工法では実現できない特徴を有し、抜本的かつ長期的に塩害による鋼材の腐食を抑制するものです。

塩分吸着剤は、コンクリート構造物内部の有害な塩化物イオン(Cl^-)を吸着・固定して無害化し、防錆効果のある亜硝酸イオン(NO_2^-)を放出することにより、コンクリート構造物の鉄筋周辺の塩分を低減するとともに、鉄筋周辺コンクリートの品質を改善していきます。

SSI工法は開発後10年を経て、鉄道や道路など多くのコンクリート構造物に施工実績があります。